

11月5日、津波防災の日

World Tsunami Awareness Day

事前防災の実践をめざし、繰り返される災害から
組合員と乗客の命を守る 11・5東京集会

202名結集！

11月5日、赤羽会館にて「事前防災の実践をめざし、繰り返される災害から組合員と乗客の命を守る 11・5東京集会」を開催し、202名の仲間が参加しました。

この間、11月5日の「津波防災の日」に職場から一斉行動を取り組み、実踏訓練や防災施設での体験学習などの防災行動を展開してきました。

今年は、この間の職場からの取り組みの成果を確認するとともに、労働組合としての防災を取り組む意義と今後の課題を明確にするために、地本として防災集会を開催しました。

集会では地本からの問題提起、東京電車区分会、大崎運輸区分会、綾瀬運輸区分会からの取り組み報告、そして信州大学・廣内教授から「首都圏の交通インフラを襲う大規模災害とその課題」と題して「事前防災に向けて教育訓練、また共助と地域との連携が鉄道にとっては重要である」との講演がありました。

また、横浜市を中心に活動する防災塾「だるま」のみなさんも集会に参加し、職場からの発表や意見に高い関心を示していました。

災害が続発する日本において、企業の危機管理や防災対策、そして事業継続計画が問われています。今後想定される首都圏でのあらゆる災害に備えるために、東京地本は事前防災にこだわり「災害から組合員と乗客の命を守る鉄道・バス」を職場からつくりだしていきます！

防災・減災対策を実現させよう！